

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報誌

平成20年3月1日発行

第3号

ハイライト

三宅小学校同窓会会報誌の第3号をお届けします。同窓会誌は毎年3月に発行いたします。

平成19度の同窓会理事の方々は、平成20年度も引き続き理事としてお世話になります。

次の理事の方々は、平成21年、22年の2年間の予定です。

この号の内容

同窓会長挨拶 1
学校長挨拶

同窓会だより 2

同窓会だより 3

同窓生寄稿 4
同窓会費決算報告
編集後記

ご挨拶

三宅小学校同窓会長 小林和弘（第46回 昭和30年卒 日笠区）



同窓生の皆さん、こんにちは。日頃は何かと母校三宅小学校の為に、ご支援、ご鞭撻頂き、厚く御礼申し上げます。

現在の風潮は若年者が大きな社会問題を引き起こしますと自分達の家庭教育はさておき、学校での教育のせいとされがちです。しかしながら、子供の教育問題は誰々の責任ということではなく、私達一人ひとりが責任を持つべきもので、その具体的活動として、本校では平成19年度より“家庭、地域、学校”が一体となった学校運営を目指しています。

また、本校では学校行事のみならず、三宅地区の中心として、体育大会をはじめ、地区の各種催し物を行っており、駐車場が手狭の為、来場者や路上駐車等で周辺の皆様にご迷惑をお掛けしておりましたが、小浜・敦賀間の高速道路建設の盛土として、本校横の小山を取り崩し、平地にしてそこを駐車場にすべく、町当局が計画に組み入れてくれました。

このように、学校教育も学校環境も少しずつではありますが、変わりつつあると受け止めておりますが、更に前進をさせるべく、今迄以上に同窓生の皆様方のお力添えをお願いする次第です。

最後になりましたが、皆様方が今後益々、ご健勝にてご活躍されることをご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

三宅スポーツ界に光！

三宅小学校長 岡本繁夫



三宅小同窓生の皆さん お元気でご活躍のことと心よりお喜び申し上げます。本校児童は、保護者はじめ多くの地域住民の皆様のご深いご理解と温かいご支援を戴きながら日々懸命に勉学に励み、活気に満ちた学校生活を送っています。

この本校も、現在地に尋常小学校として設立（1911年3月）されてからもうすぐ満百年もの歳月が流れようとしています。校門の石柱のみがその面影を留めていますが、周りの景観は『まをながる 水きよく 後ろをまもる峰高し』と校歌（大正2年制定）にありますように、今も少しも変わる事のない美しい若狭三宅の自然があり、この中で三宅小教育は育まれてきました。今、ここにあるのは、今日まで熱き思いでしっかりと支え育てて下さった諸先輩や地域の皆様方のご支援の賜物と感謝するばかりです。

今年オリンピックイヤー。本校卒業生にも、ボクシングや野球のスポーツ界でプロへの道を究めようと果敢に人生に挑む青年が出てきています。輝ける先輩に、後輩たちの夢と希望は大きく膨らむことでしょう。今後皆様のご健勝とご活躍を念じつつ、より一層の母校へのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

全校児童数 134名
(男72名 女62名)
平成20年3月1日現在

同窓会便り

第50回（昭和34年）卒業生

松宮和夫・山縣和弘（井ノ口区）

三宅小学校を卒業して半世紀を迎えようとしています。卒業時には35名いた同級生も一人、二人と欠け、現在では30余名。地元組と遠距離組は半々。

ほぼ毎年、地元組を中心に同級会を行っております。18年には、今津サンプリッジホテルで、19年は9月22・23日に舞鶴のコテージ（舞鶴市瀬崎）で、昼はアジ釣り、夜はバーベキューと昔話に花を咲かせました。

また、10月には〇〇君が帰って来たから集まれと居酒屋じろう（井ノ口）で、11月には××君が元気になったからと忘年会を兼ねて藤兵衛（三宅）で、毎回十数名が集まり世間話と情報交換に努めております。

還暦をすぎ、ある人は現役勤め人、ある人は定年で現役引退と様々に第二の人生を楽しんでいます。毎回世話役をして下さる女性陣には、ありがたく感謝しています。

さて、我々小学校時代は時間があると山へ川へと遊びに行ったものですが、今の子供たちは家の中で勉強、ゲーム遊びと、仲間で遊ぶことが少ないように思えます。共同生活の中で仲間意識というのは大変大切だと思います。PTA・余暇のある同窓生にお願いし、三宅小学校独自の仲間づくりを企画してはいかがでしょうか。これは後の同窓会につながると思います。



第71回（昭和55年）卒業生

武田（中村）洋子（中野木区）

同級生17名、少人数だったからか、男女皆仲良く、まとまりのあるクラスでした。今も、その大半が地元にいるということで、何かと集まっています。やはり、保育所からの友達っていいですね。当時の話から、現在の暮らしの中でのさまざまな話をしています。幼なじみならではの素顔の語らいは、何にかえがたい時間です。

田邊（河原）真紀（下中區）

小学校を卒業して28年経ちますが、今になって昔の話ができる友達って良いものだなあとつくづく思います。3ヶ月に一度くらいみんなで集まりますが、この会の後はいつも「がんばって子育て、家事、仕事」を両立させようと思ひ、気力が湧きます。ほんとうに仲間のありがたさを感じます。

松尾（木又）順子（小浜市）

私たちの学年は男子6人女子11人の17人でした。内、女子10名は地元、あるいは近隣に嫁ぎ、年に3～4回は町内の飲食店に集まり、お互いの近況や子供の話、又は小学校の時の思い出話などに花を咲かせております。

日々の慌ただしい生活の中で、こうして気のおけない仲間と美味しいものをつつきながら語らう時間というのはほんとうに貴重で、また、明日への活力となり、私にとって最高に楽しい一時となっています。小学校時代の仲間というのは、30年近い年月を経ても会えば変わらぬ笑顔で語りあえるとても大切な仲間だとしみじみ感じております。

橋本（小林）淳子（井ノ口区）

昨日会っても、何年も会ってなくても
会った瞬間 笑顔になれる
小学校時代の友達が私の元気の源です。

中村（玉井）順子（脇袋区）

小学校の同級会…

5、6年くらい前から地元に残っている同級生（女の子）に声をかけ年2、3回は必ず“お食事会 & おしゃべり会”を開催している。出席率も80%以上はあるだろう…！私も実際、この同級会を最優先に考えているからだろうと思う。何回会っても話が尽きず…昔の話、家庭の話etc…小っちゃい頃から気心が知れていて、ありのままにいられるこの時間が本当に楽しい♡ これからもずっとこの同級会ができることを楽しみにしています。



吉田（山中）正子（三宅区）

小学校という、何十年さかのぼるでしょう？

楽しいことや悔しかったこと、思い出せばきりが
ない程の記憶が、誰にでも心の片隅にしっかりと
残っているのではないのでしょうか。勿論、昭和のあ
の頃には、今のようなゲームやプリクラ、おしゃれ
な店はありませんでしたし、テレビだって今程のバ
ラエティー番組もなく、でもみんなが元気だったあ
の時代。親に与えられた服を当たり前のように着
て、近所の駄菓子屋さんで10円とか50円のお菓
子を買って食べて。土砂降りの雨が降って雷が鳴り
続けようと、雪が降り続いて背丈まで積もろうと
も、そんなの全くお構いなしで、何かしら自然の中
で楽しいことを見つけては、毎日暗くなるまで遊び
まわっていたものでした。ですから、家で宿題とい
うものをした記憶がありません。両親や先生、地域
の方に見守られ愛されて、何の不安や不満もなく昭
和の一番よい時代を輝くように生きていた記憶が甦
ります。

17人しかいなかったクラスの友達、優しくもあり、
厳しくもあった先生方、毎日給食を作ってくだ
さった優しくあった久保さんと正木さん。あの時のお
二人の優しいお顔とおいしかった給食の味は、今で
も忘れることはできません。小学校1年生からの3
年間を母のような大らかな愛で私達を導いて下さ
った田辺先生。夏休みにはみんなで先生のお宅にま
で遊びに行きました。遠足に運動会、修学旅行、夏に
は天徳寺の英霊殿でテントを張ってキャンプも行い
ました。思い起こせば忘れかけていた記憶を次々と
思い出すことができるものです。音楽室、放送室や
体育館の懐かしいあの独特の臭い。校庭には毎年必
ず桜の木が満開の花を咲かせ、私達は図工の時間
にその見事な木を写生したものです。すぎなさん
では、自分たちが育てた立派な大根を、真冬の冷たい
水で一本ずつ洗いました。あの時、橋本先生に「正
子はえー嫁さんになるな」とほめられたことが、
幼いながらにとっても嬉しかった。あの先生は今、ど

うしておられるのでしょうか。今は亡き恩師の西川先
生は、いつも授業中にティッシュではなくタオルで
鼻をかんでおられました。「ティッシュは使い捨て
やけど、タオルなら洗って何回でも使える」と。優
しい先生でした。運動会ではお決まりのフォークダ
ンスがあって、密かに憧れていた1つ上の生徒と手
をつなげることにドキドキしたり。そのあと母が
作ってくれた栗御飯。遠足で食べた母の大きなおに
ぎり。何もかも懐かしさ一杯です。そうそう、鼓笛
隊なんていうのがあって、みんな水色の水兵さんの
ような制服を着て、ベレー帽をかぶって。お腹のと
ころに小太鼓を固定して、一生懸命バチで叩きなが
ら行進したのを覚えています。あと、上級生の卒業
式に必ず配られた紅白のお饅頭。あの頃には甘いお
菓子があまりなかったのでしょうか。その饅頭を持
って友達と北川へ遊びに行き、さんざん遊んだ挙
げ句、土手に座って饅頭を食べたあのおいしかった
こと。小学校の頃の記憶が、次から次へとこの間
のこのように思い出されます。

そして今、私の一人娘は、私の母校である三宅小
学校で6年間を学び、今上中中学校へと通っていま
す。娘は、私が30年前に見た同じ光景を毎日見な
がら同じ学校へ通い、日々成長してゆきます。その
姿にあの頃の自分を重ね、何とも言えず不思議な気
持ちになるのです。

娘が小学生の頃、大きなランドセルをしょって家
に帰るなり私に言った言葉を思い出しました。「お
母さん、さっき帰り道で知らんおばあさんに、『あ
ら、正子ちゃんの子とちがう？一緒の顔しとるわ
あ。』って話しかけられたー。そんなに似とる
ん？」不思議がる娘の話聞いて、ああ、いい
なあ。三宅に育って、娘まで三宅に育って、やっぱ
り良かった。時代は変わっても、三宅小学校も、子
供も、地域の人々も、実は何も変わらない昔のま
まの三宅なんやなあ、と胸が少し熱くなりました。い
つも周りの人々に支えられ、こうして幸せでいられ
ることへの感謝の気持ちで一杯になるのです。

第78回（昭和62年）卒業生

「久しぶり～」 宮田良平（日笠区）

第78回卒（昭和62年卒）の同窓会を平成19年
5月4日に、担任であった青山亨先生をお招きして
「いち福」で開催しました。

予定では、小学校卒業して10年後に同窓会をする
ということで決めていましたが、また10年たち、
20年後に同窓会を行うことになりました。

当日は、31名中13名の出席でしたが、久しぶり
に会う同級生はよいもので、すぐに話が盛り上がり、
時間のたつのも忘れるほどでした。最後には、タイム
カプセルを開け、中には20年前の新聞、当時の宿題
のプリント、ノートなど20年前に戻った気持ちにな
りました。

今回は2年後に再会できることを楽しみに…



同窓生寄稿

小学校時代の思い出

竹井（河原）民代（第54回 昭和38年卒）
（滋賀県竜王町）

「三宅の里に萌え出ずる～」意味も分らず歌っていた校歌。

石の階段をトントンと駆け上がり、校門をくぐって教室に駆け込んだ思い出。

50年たった今でも、一コマ一コマが鮮明に蘇ってくる。今は昔、テレビやコンピューターゲームも無く、ただただ外で遊び、刈り取り後の田んぼで、誰ともなしに拾ってきた棒きれをバットに見立て、裸足になりソフトボールなど、上級生に混じり男も女も問わず、薄暗くなるまで遊び回ったあの頃はとても楽しかった。おやつもろくにあたらず、兄妹で分け合って食べたことがほほえましく思い出されます。同級生女三人どうして一緒に遊べなかったか不思議な思い出、又、いろりを囲んでの一家団欒、大人の話に子どもなりに理解して、聞いていたことが社会通念上基本的なことが身に付いていったようにも思う。親が腰が痛い、足が痛いと言いつつ、田畑で汗を流し重労働している姿を見るにつけ私が助けなければと思ったもので

す。現在では、どの人もきれいな物を着、お化粧品をして、車で競って出勤、気ぜわしい生活、子供は子供なりに塾、習い事と忙しく、一家団欒の場が失われてきているように思う。時代は移り変わっても、家庭環境の大切さ、地域環境の大切さを身をもって経験してきた私たちが、受け継いで見守っていかなければと思うこのごろです。

3人の子供も成人し、肩の荷も下りホットしている私。人生の折り返し、これからは、ゆったり、ゆっくり、スロー人生で歩みたいものです。



(写真：平成19年5月 校内体育大会)

三宅小学校 同窓会費 決算報告

収入の部

項目	金額(円)	備考
前年度繰越	28,738	
会費	126,900	300円×423人
入会金	10,500	500円×21人
貯金利息	107	
計	166,245	

残金

31,483円は次年度の会計に繰り越させていただきます。

平成20年3月1日

三宅小学校同窓会事務局

支出の部

項目	金額(円)	備考
事務費	5,475	印刷費、切手代
会議費	6,050	同窓会会報誌編集委員会
同窓会会報誌	73,237	同窓会会報誌印刷費
積立金	50,000	
計	134,762	

編集後記

春の足音が聞こえてくる頃にランドセルをしょって登校する子供たちを見ると小学生の頃の登下校、学校周辺で遊んだ頃の事を懐かしく思い出します。

さて、一昨年度より発行しておりますこの会報誌「すぎなさん」も今回で第3号となりました。同窓生の皆さんが1年に一度この会報誌を見ていただいて、小学生時代の事を懐かしく思い出していただけると幸いです。

尚、会報誌に対するご意見、ご希望ご感想等がございましたら、どしどしとお寄せください、お待ちしております

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

平成20年2月吉日

同窓会事務局住所

〒919-1542

福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11

電話：0770-62-0005

FAX：0770-62-0038

電子メール：miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp

三宅小学校同窓会 会報誌 編集委員

河原忠信（天徳寺区理事 第52回卒）

田中雅章（天徳寺区理事 第55回卒）

石田久美子（若王子区理事 第71回卒）

松宮高宏（同窓会幹事）

高橋香苗（同窓会幹事）